

2020年6月10日

各位

株式会社ジャフコ

当社運用ファンド投資先における
不正行為の発生と容疑者の逮捕について

2020年6月9日付で当社運用ファンドの投資先であるエルピクセル株式会社（以下「同社」といいます）の元取締役が、業務上横領(以下「本件不正行為」といいます)の容疑で逮捕されました。

本件不正行為については、元取締役（2019年12月27日付で解任）本人からの申告により疑義が発生し、その後の調査により事実が判明しました。同社は昨年までに複数の投資家より資金調達を行い、当社運用ファンドからも投資を行っております。元取締役は、2017年4月から2019年1月にかけて複数回にわたり、総額約33.5億円（うち約5億9千万円については、元取締役が本件不正行為の発覚前に同社の銀行口座に返還済み）を個人口座に振込送金し、私的に流用したことが判明しています。

本件不正行為発覚後、同社は速やかに刑事告訴を行い、警察による捜査が進められておりました。併せて元取締役に対する損害賠償訴訟も進めています。また同社は、2020年1月17日に、事実関係および原因究明、再発防止に向けて、特別調査委員会を設置し、調査報告書の指摘に基づき、社内管理体制の見直し、監査体制の強化、経営管理体制の強化等を行っています。

（同社のリリース：<https://lpixel.net/news/press-release/2020/10039/>）

当社は運用ファンドの無限責任組合員として、同社に社外取締役を派遣しております。巧妙な隠蔽行為があったとはいえ、多額かつ長期に渡る横領を防げなかったことは、当社としても大変遺憾に存じます。不正行為発覚後は、同社関係者と連携し、現経営陣による事業の存続の適否、及び運用ファンドの利益確保の観点から検討を重ねて参りました。同社の事業はこれまで相応に進捗しており、投資資金の回収額を最大化するためには、追加投資も行き支援を継続することが最善と判断致しました。当社は引き続き社外取締役を派遣し、同社の内部管理体制の再構築及び企業価値の向上に取り組んで参ります。

また当社では、他の投資先についても同様の事案が発生しないよう、全ての投資先会社を対象に、内部管理体制の確認、強化を進めており、資金管理の確認と指導を一層強化して参ります。

ご心配をお掛けすることとなり誠に恐れ入りますが、皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微であります。

以上

<問い合わせ先>

(株)ジャフコ 管理部広報担当 ir@jafco.co.jp